



○ 料理と図形

調理師科1年コースの授業です。このたびは「出汁巻き卵」と「梅人参」に挑戦です。卵焼きは私も時々家庭でつくりますが、よく焦げたり形がいびつだったりします。梅人参は歳の暮れにおせち料理づくりの手伝いとして大量につくります。私には結構なじみのある“作品”です。



たより37号でも取り上げましたが、基本は大切です。梅人参では大根の桂剥きやシャトー剥きとも関連する技術が活かされるようです。その前段階の五角形の形づくりも侮れません。

～角形という形は私たちの身の回りにたくさん存在します。三角形から始まって、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二…と永遠に続きます。究極は限りなく円に近づいていきます。この中でも自然界の中で最も強いものは六角形だと私は思っています。例を挙げれば、蜂の巣、雪の結晶などがありますね。石けんなど泡の集団もくっつき合うと六角形を形作ります。十円玉など大きさが同じ硬貨をたくさん使うときちんと美しく並びます。そういえば十二進法の時計も六が二倍になった形です。六目網みで作った籠といえば運動会の玉入れでよく見かけます。(今は多くがプラスチック製ですが)

さて、五角形です。☆の形はよく見かけますが、いざ作図しようとするとかかなりの難易度です。ネットには定規とコンパス(分度器ではなく)を使った作図の方法がいろいろと紹介されています。私が数学の美しさを感じる分野です。私たちが一番よく見かけるものは自動車のホイールかな?五角形のものも案外と多いようです。

自然界にはないかといえばそうではなく、たくさんあるようです。梅や桜の花、オクラの断面、ヒトデなどもそうですね。自然物ではないけれどサッカーのボールにも使われます。



サッカーボールは現在、カラフルでさまざまなものがデザインされていますが、形状の基本は五角形と六角形の組み合わせです。バスケットボールやバレーボール、野球の硬球など、それぞれ形状の基本は違います。用途の違いでもあるのでしようけれど、ここでは紹介しきれません。調べだしたらきりが無いと思います。

ということで、料理と数学には案外と関係があることに気づきます。しかし梅人参をつくる時にいちいち定規とコンパスを使うわけにはいきません。つくろうとする形をよく観察し、その特徴を記憶に留めることが大切なのではないでしょうか。身の回りの様々な形に興味をもつことも大切だと思います。

○ 自校自賛 〰〰〰 お休み 今回の植物 : カキノキ(柿)

甘柿と渋柿があります。今年のもはまだ赤くなっていませんが、持ってきてみました。渋柿は毎年干し柿にして味わっています。柿の渋は昔、傘の防水に使われたり、防腐剤や塗料としても使われます。また、柿の葉は薬のような使われ方もします。料理では柿の葉寿司というものがありますね。日本人にとって大昔から身近で大切な植物でした(今も!)。また、柿のある風景は郷愁を誘います。

